

# Aesthetics and Art History



## 徹底した演習で確実に藝大突破！

本コースでは、東京藝大芸術学科の志望者を対象に、確実に入試を突破するための問題演習と解説講義を実施しています。大量の過去問題と予想問題に触れることで実力を養成し、試験時間どおりに問題を解くことで、試験本番でのペース配分を身につけます。講義では、講師が作成した模範解答や過去の合格者の参考作例など、豊富な資料を提供した上で、充実した解説を行います。

## 受験に留まらない豊かな知性と感性を養成します

入塾すれば、同じく美術が大好きで藝大を目指している仲間たちに出会えます。彼らとの関わりはきっと皆さんを成長させてくれることでしょう。更に、講師一同は、問題演習だけでなく、合格者座談会や美術史講義など、皆さんの感性と知的好奇心を揺さぶる、多彩なイベントを用意して待っています。大学入学後の研究にもつながる、本物の実力を身につけましょう。

2025年度 東京藝大 合格者数 日本一

9名 [現役生7名] | 過去12年で11回  
日本一の実績

## 一人ひとりの目線に立って…

毎回の演習で作成した答案は、講師が一人一人丁寧に添削した上でお返しします。歴史にしても小論文にしても、論述は細部の言い回しや文章構成などについて客観的な指摘を受けないとなかなか上達しないものです。本コースはそんな受験生の必要にしっかり対応します。また、定期的に面談を行って、共に学習方法を模索していく他、質問や進路相談にもその都度対応しています。

## 素描選択にも対応！

2025年度より専門二次試験素描受験対策コースが新設されました。東京藝大芸術学科の課題に即した、専門の講師による指導が受けられます。実際に描いてみることは絵画の本質的な理解にもつながるはずですが、選択を考えている方はまずはご相談ください。

## 主要指導スタッフ

講師一覧 P.80



田口仁

## 芸術を通して 世界を見つめる

高3・卒生対象 芸術学専攻 東京藝大小論文選択日曜専科 [日] 9:30-18:00  
東京藝大素描選択日曜専科 [日] 9:30-18:00

高2生対象 芸術学専攻 東京藝大高2月曜専科 [月] 17:30-20:30

芸術学は美術史と美学からなる学問領域です。作品やイメージを手掛かりに歴史や人間について研究したり、芸術の魅力を言葉や企画などで表現することで、多くの人に伝えることもできます。

高3・卒生コースでは、主に東京藝術大学芸術学科の個別試験対策を行います。個別試験とは、大学入試共通テスト（外国語必須 / 合計3教科3科目又は4科目）以外に課される、英語、歴史、小論文（あるいはデッサン）の専門試験のことです。英語では芸術に関する英語の専門文献の和訳、歴史では文化史を重視した日本史・世界史の問題が出題されます。小論文では、与えられた作品図版の形式や意味の分析や、芸術に関わる事象や概念についての意見が求められます。

これまでに美術を専門的に勉強したことがなくても、1年間しっかりと対策に取り組めば、十分に合格がめざせます。なにが描かれているか、どのように描かれているか、なにを表現しているか…。作品から時代・様式の特徴や作者の魅力を読み取る力の基盤となる、確かな知識が身につけられます。

東京藝大高2月曜専科では、早期から対策を始めることによって合格をより確実なものにできます。美術史・美学の豊富な講義で、受験年からは学ぶことが難しい専門知識も楽しく身につけられます。

# 芸術学

## 高3・卒生 CURRICULUM

春期講習	レギュラー講義前期	夏期講習	レギュラー講義後期	直前講習
3月下旬〔1週間程度〕 東京藝大入試の傾向と対策を紹介するガイダンスを実施し、実際に英語・歴史・小論文の演習に取り組みます。 藝大芸術学科を受験する上で知っておくべき基本的な情報を身につけることができます。 まだ受験を迷っている方も気軽に受講してください。	4月~7月 英語 ○ 基礎力の養成とリわけ文構造の把握に重点を置いた解説を行います。 歴史 ○ 日本史・世界史ともに、古代・中世を中心に基礎的な論述演習を実施します。 小論文 ○ テーマ型・作品記述型、いずれのタイプの出題についても、書き方のポイントを丁寧に解説します。小論文全般に共通の基本的な形式から学んでいきます。	8月〔2週間程度〕 前期講義で培った基礎力で、過去問など更に実践的な問題演習を行います。短期間で演習を繰り返すことで、実力アップをめざしましょう。 合格者座談会や美術史講義など、楽しいイベントも予定しています。 最終日に行う藝大模試は貴重な機会です。この時期に実力を自覚しておくことが、後半の成長への布石となります。	9月~1月 英語 ○ 難易度の高い問題に基本的には辞書を使わずに取り組みます。内容理解を踏まえた訳語の選択を強化します。 歴史 ○ 近代以降を学習範囲に加え、通史やテーマ史など深い理解が要求されるような問題にも取り組みます。 小論文 ○ 前期に引き続き、さまざまなタイプの問題に触れます。文章構成はもちろん、内容も充実した答案を作れるように頑張りましょう。	1月末~2月下旬 一か月間集中的に、藝大の過去問や予想問題を浴びるように解きます。ハードなスケジュールになりますが、毎日の復習をしっかりこなしてついでに、ここでかなりの実力を身につけることができます。ここまでの学習をじっくり復習し盤石の状態に仕上げましょう。 藝大試験 2月末日 最終合格発表 3月中旬
高2生 月曜専科 CURRICULUM	レギュラー講義前期 英文読解講座基礎編、小論文講座入門編、美術史・美学講座 part1	夏期講習 英語、小論文集中講座、確認テスト	レギュラー講義後期 英文読解講座発展編、小論文講座応用編、美術史・美学講座 part2	冬期講習 実践問題演習 本番テスト

冬期講習 高3・卒生コースは冬期講習を実施しません。  
12月下旬~1月上旬の間は大学入試共通テストの対策に集中しましょう。

[問題]

右に提示された作品の造形的特質を記述しなさい。

[解答例]

**1** 冒頭で主題を明確にできているのは◎です!

一方、女性と何かを告げる天使の絵なので、これは「受胎告知」の場面で女性はマリアだとはっきり指摘できるとよかったですね。それによって描写が作品に与える効果の解釈も変わってくるでしょう。

**4** 確かに遠近法が不完全なようにも思えます。しかし、その不完全さが生み出す積極的な効果を考えてみましょう。

**5** まるで空白を恐れているかのようです。この「圧迫感」を生み出しているものとして、緻密な描写にも言及したところでした。その隙の無い細密さと驚くべき質感描写が生み出す事物の存在感が、見るものを圧倒します。

**8** 分析を最期でまとめようとしてくれているのは◎。ただし、第一段落で触れた構図・空間の分析が含まれない結論になってしまっています。構成段階でしっかり吟味しておきたかったですね。

正方形に近い画面には、**1**狭い部屋で読書する女性と、彼女に何かを告げようとする天使が描かれている。この作品を見てはじめて気がつくのは空間表現に対する違和感である。二人の人物の間にある**2**テーブルは天板が鑑賞者の方に向かって傾いているように見えるのだ。人物とは描かれている視点の位置からすると、テーブルに乗せられたモチーフが手前に転がり落ちてきそうである。また女性の隣の椅子も女性との位置関係が不明瞭で、**3**女性と椅子はまるで別の絵からコラージュされたようにさえ見える。**4**この画家は遠近法を熟知していないのであろう。

次に指摘したいのは、部屋の中に描かれた事物の描写である。テーブルの上には花瓶、燭台、書物が置かれているが、それだけでなく奥側の壁にも開かれた窓、吊り下げられたヤカンとタオル、ソファの後ろも大きな暖炉がある。

**5**画面は余白なく事物が描き込まれ、圧迫感さえ感じさせるほどの密度である。**6**しかし、手前の主題人物に対して色彩が抑えられており、目を楽しませつつも、鑑賞者の視線を混乱させることはなく、画中の出来事に集中させる。

最後に人物描写の特徴について述べる。抑えた色彩の背景に対して、読書する女性と天使の衣はそれぞれ赤と白とでコントラストをなし、鑑賞者の視線をよく引き付ける。

**7**この着物は画面下部を大きく覆い、複雑な折り返しと光沢の表現とあいまって、主題の人物の高貴さを印象付ける。

以上のことから、この作品は背景のモチーフを緻密に描きながらも、主題たる天使と女性を引き立たせることに成功しており、鑑賞者を絵画により深く集中させることを可能にしていると言える。**8**鑑賞者は、最初は主題に注目するが、次にその周辺の様々なモチーフに気が付き、画面を幾度も往復することになるのである。

**2** 空間に対する違和感を上手く言語化できています!

**3** 確かにコラージュ的に見えますね。ここで指摘してくれているのは、「それぞれのモチーフを描く視点の高さが異なっている」ということでしょう。それを端的に要約できるといいですね。ここで更にもう一步深めて、コラージュのように見える理由を考えてみるとよりよかったです。人物とテーブル、テーブルと椅子などモチーフ同士が重なり合わず、まるでパズルのように配置されています。

**6** 様々な特徴が組み合わせられて生じる効果をよく指摘できています!

**7** このような装いのことを「ドレパリー」と呼びます。まるでその技術を誇示するがごとき存在感ですが、大きく広がっているにもかかわらず、他のモチーフと重なり、隠すことがありません。



図版

ロベルト・カンピン  
《メロードの祭壇画(中央パネル)》  
1425-1430年頃  
メトロポリタン美術館

東京藝大合格者  
よろこびの声

榎本 夏帆さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科



東京・都立新宿山吹高校通信制課程

自学自習を進めつつ、個々の課題に応じて先生方から丁寧なフィードバックをいただけるシステムや、落ち着いた雰囲気での学習環境が、受験生活の支えになりました。授業内容には、受験科目の基礎固めにとどまらず、様々な美術史のトピックが含まれているので、モチベーションの維持向上につながりました。添削を受けた答案をじっくりと見直しながら解き直し、さらに気になった関連書籍を読んで小論文に活かしたり...と、開かれた学習サイクルが身についたことが、今の学びの基盤になっています。ありがとうございました!

香川 愛渚さん  
東京藝術大学 芸術学科



東京・豊島岡女子学園

受験を決めて、週1回美研にのみ通いながら、1年間過ごしましたが、ここでひたすら答案を出してフィードバックをもらっているうちに、文章を書くことが自己陶醉じみた行為から、理性的な選択の連続になっていったように思います。入学後も、美研で得られたこの感覚にものすごく助けられています。

廣瀬 虹光さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科  
慶応義塾大学 人文社会学科  
栃木・県立栃木女子高校



毎回本番と同じ形式の問題を解き、先生から丁寧な採点をいただいて解説を聞くという授業スタイルが、私の力を着実に伸ばしてくれました。特に直前講習では、入試対策だけでなく自分の根本的な弱みも克服できたと感じています。採点を受けた答案をよく振り返り、いただいたアドバイスをよく吸収し毎回着実に成長していけば、きっと合格できます。芸術学の先生方を信じて、そして最後まで自分を信じて頑張ってください! 先生方、本当にありがとうございました。

橋本 采芽さん 現役合格  
東京藝術大学 芸術学科



千葉・県立千葉高校

なかなか自分では対策しづらい癖のある入試問題で不安に思っていたが、美研でかなりの量の演習問題を解くことができたため、どんな問題が出てもある程度対応できる力をつけることができたと思っています。また、全体よりも個人を重視する指導方法をとってくださり、集団授業ではありながらも自分に合った方法で勉強を進めることができて非常に感謝しています。

描かれるモチーフの密度や色彩の対比などよい視点を示してくれています。段落分けもしっかりとできていますね ◎ / 一方、この「違和感」のある空間表現について、その効果を分析しきれなかったようです。果たして正確な一点透視でこの作品が描かれていたら、ひしめくモチーフはこれほど明瞭に見えたでしょうか? 授業では北方ルネサンスの絵画に特徴的な空間表現とその効果についても解説しています。